



りそな銀行アジアニュース

2017年5月12日
りそな銀行 国際事業部

【上海駐在員事務所】

新設7自由貿易試験区の総体方案公布について

2017年3月31日、国務院は新たに設立が決定していた遼寧、浙江、河南、河北、重慶、四川、陝西自由貿易試験区（以下自貿区）の総体方案（基本計画案）を公布し、新設7自貿区の正式的な設立を発表しました。各自貿区は、それぞれ独自色を打ち出しながら、規制緩和や市場開放等を推し進めていきます。具体的な内容は以下の通りです。

◆自貿区の設立沿革

2013年9月に初めての自貿区が上海市で発足し、その後2015年4月広東省・天津市・福建省に設立、今回は第3段の発足となり、全国で11か所にまで拡大しました。

◆新設7自貿区の位置づけおよび発展方針

エリア	位置付け	重点発展方針
遼寧	東北旧工業基地の構造改革、対外開放推進	大連：港運物流、金融・貿易、先進設備製造、ハイテク、海運サービス 瀋陽：設備製造、自動車及び部品、航空設備 營口：商業・貿易物流、越境EC、金融などのサービス業、次世代IT技術
浙江	海上門戸解放モデル、貿易の自由化促進	舟山離島：グリーン石油化学基地、保税燃料供給 舟山島北部：石油精製品等コモディティ商品の貿易、付属設備製造、倉庫業 舟山島南部：コモディティ商品取引、航空製造、物流、海洋旅行、海水利用
河南	一帯一路政策を支援する現代的な交通ターミナル、内陸開放型経済モデル区	鄭州：人工知能、ハイエンド設備、自動車製造、バイオ医療、物流 開封：アウトソーシング、医療旅行、金融、工芸品取引、物流 洛陽：設備製造、ロボット、新素材、R&D、EC、国際旅行
湖北	中部産業移転モデル区、新興産業・ハイテク産業集積地	武漢：次世代IT、生命・健康、人工知能、金融、物流 襄陽：ハイエンド設備、新エネルギー自動車、ビッグデータ、クラウド 宜昌：先進製造、生物医薬、IT、ハイテク産業、EC
重慶	一帯一路・長江経済帯発展の支援エリア、国際物流の中核	両江：ハイエンド設備、電子コア部品、クラウド、バイオ医療、EC 西永：電子情報、人工知能、保税物流サービス 果園港：国際物流中継、輸送サービス
四川	西部拠点都市の開発・開放モデルエリア	成都天府新区：現代サービス業、ハイエンド製造、航空、海運 成都青白江鐵路港：国際物流集荷中継、展示、保税物流倉庫、完成車輸入 川南臨港：港湾貿易、教育医療、設備製造、医療、食品・飲料製造
陝西	内陸部改革の新たなポジション、一帯一路政策の重要拠点	中心エリア：新興産業、ハイテク、ハイエンド設備、航空物流、貿易金融 西安国際港務エリア：国際貿易、物流、金融サービス、旅行展覧会、EC 楊凌示範区：一帯一路農業国際協力センター設立

今回の自貿区全体方案はあくまでも方向性を示すものであり、今後に公布される細則に基づいて、実際の政策が実行されます。各自貿区の特性・方法性を把握したうえで、戦略を考える必要があります。引き続きの情報は、随時展開させていただきます。

照会先：国際事業部（東京）電話 03-6704-3791
（大阪）電話 06-6268-6357

当資料は、信頼できるとされる情報に基づいて作成しておりますが、弊行がその正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前の連絡なしに変更されることもあります。当資料は情報提供のみを目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、お客様御自身でご判断下さいませようお願い致します。

* 禁無断転載